

【目次】

1. 新しい企画展「内ヶ崎作三郎」が1月6日（金）にスタート！
2. 企画展「総同盟結成70年」が閉会、12月22日！
3. 講演会「安部磯雄と西尾末廣」（梅澤昇平氏）を開催、12月5日！
4. 労働資料協2016年度総会に参加、12月1～2日！
5. 働く文化ネットの労働映画鑑賞会が開かれる、12月8日！

1. 新しい企画展「内ヶ崎作三郎」が1月6日（金）にスタート！

友愛労働歴史館は2017年1月6日（金）から新しい企画展「内ヶ崎作三郎—教育者・牧師・政治家の生涯—」（2017.01.06～06.30）を開催いたします。

内ヶ崎作三郎（1877.4.3～1947.2.4）は教育者（早稲田大学教授）、牧師（統一基督教会・自由基督教会）、政治家（衆議院議員）として知られています。2017年は内ヶ崎の生誕140年、没後70年に当たります。今回の企画展「内ヶ崎作三郎」はこれを記念したものです。



本企画展では「第1部 内ヶ崎作三郎—その生涯—」で、仙台の旧制二高で小山東助・吉野作造らと親交を深め、東京帝大入学後は海老名弾正の本郷教会に所属し、活躍した。同大卒業後は早稲田大学で教鞭をとり、その後、英国に留学。帰国後は教育者として、また牧師として活躍し、後に政治家に転身したことなど、彼の69歳の生涯を紹介しています。

また、内ヶ崎は英国オックスフォードのマンチェスター・カレッジに宗教学研究のため3年間留学し、帰国後、早大教授を務めつつ、東京ユニテリアン教会の牧師に就任します。「第2部 牧師—内ヶ崎作三郎—」では、彼がユニテリアン教会の名称を統一基督教会に改称したことや、新たに自由基督教会を設立した理由について考察しています。

「第3部 政治家—内ヶ崎作三郎—」では、彼が1924（大正13）年に衆議院議員となり、政治家に転身した理由を、ユニテリアン教会・自由基督教会の同志である永井柳太郎、星島二郎、安部磯雄、鈴木文治、松岡駒吉、河上丈太郎らに言及し、彼らが共有したユニテリアン精神（「自由の拡張」「社会問題の解決」「理想社会の建設」）について考察しています。

2. 企画展「総同盟結成70年」が閉会、12月22日！



本22日（木）、友愛労働歴史館企画展「総同盟結成から70年—いま労働組合主義について考える—」（2016.06.06～2016.12.22）が閉会しました。

「総同盟」展は、結成70年を迎えた総同盟（戦前の友愛会、現在の連合）について紹介しつつ、総同盟（戦前）の論客・齋藤健一と全労・同盟（戦後）の理論的指導者・川崎堅雄を取り上げ、その労働組合主義について解説したものです。

労働組合主義と言ってもその中には、民主的労働組合主義や階級的労働組合主義があります。本企画展ではこのような労働組合主義について、シドニー・ウェブやレーニンにも言及しつつ

解説を行いました。なお、以下に「総同盟の指導精神」を転載いたします。

総同盟の指導精神—民主的労働組合主義—

「総同盟は戦前の総同盟の指導精神、すなわち民主的労働組合主義をうけついで発足した。この民主的労働組合主義をつらぬくものは人間尊重の精神であり、労働者の生活と地位の向上を達成せんとする社会正義の精神であり、さらに現実をふまえて改善を積み重ねてゆこうとする現実主義の建設的精神である。この指導精神こそ、いく多の諸先輩たちの血のにじむ労苦と貴重な経験を通じて友愛会以来、発展的に伝承されてきたものであり、戦後、再建された総同盟の綱領も、この指導精神の結晶にほかならない」（『総同盟 50 年史』第 3 巻より）

3. 講演会「安部磯雄と西尾末廣」を開催、12月5日！



友愛労働歴史館は12月5日（月）15：00～17：00、労使関係研究協会と共催で講演会「安部磯雄と西尾末廣—社会民衆党結成90年」を開催しました。講師・報告者は梅澤昇平氏（友愛労働歴史館研究員）で、参加者は友愛労働歴史館と労使関係研究協会の関係者ら約30名でした。

梅澤昇平氏はレジュメと参考資料（日本の政党系譜略図）にもとづき1時間半に亘り講演を行い、その後、30分程の質疑・意見交換を行いました（詳細、資料紹介は略）。

4. 労働資料協2016年度総会に参加、12月1～2日！

友愛労働歴史館は12月1日（木）～2日（金）、東京・豊島区の立教大学太刀川記念館・同共生社会研究センターで開かれた労働関係資料センター連絡協議会（労働資料協）2016年度（第31回）総会に出席しました。労働資料協は大原社会問題研究所（東京）やエルライブラリー（大阪）、連合資料室、東大や同志社などの大学図書館等が加盟する社会運動の資料・書籍のリユースなどを目的とする団体です。

今年の総会には13機関・23名が出席し、2015年度事業報告・2016年度事業計画などを確認しました。友愛労働歴史館からは間宮事務局長と安部千恵さんが参加。

5. 働く文化ネットの労働映画鑑賞会が開催される、12月8日！

NPO法人・働く文化ネットの第34回労働映画鑑賞会（「労働映画の源流を求めて」）は、12月8日（木）18：00～から連合会館2階会議室で開催されました。上映映画は「労働映画100選」の中の『明治の日本人』『働くフランス人』『隅田川』の3本でした。次回の労働映画鑑賞会は、2月9日（木）が予定されています。

「人間の尊厳、進歩と発達のために」

発行：友愛労働歴史館 責任者：徳田 孝蔵 担当者：間宮悠紀雄

〒105-0014 港区芝 2-20-12 友愛会館 8F TEL050-3473-5325

Eメール yuairedorekishikan@rodokaikan.org HP <http://www.yuairedorekishikan.com>

唯一館から122年、友愛会から104年
